



桐

K

I

R

I

目黒学院高等学校同窓会事務局

〒153-8631 東京都目黒区中目黒1-1-50

電話 03-3711-6556

編集発行人 会長 安達 富夫

URL <http://www.meguro.ac.jp/Kiri/>



平成20年度会務報告



同窓会会長

安達 富夫

(昭和43年 3月卒)

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日頃から同窓会に対して様々なご支援、ご鞭撻をいただきまして厚く御礼申し上げます。

まず、本誌を通してこの1年間の本会の経過報告等をさせていただきます。

母校の行事につきましては、例年同様、卒業式、梧林祭に同窓会から代表が出席して、卒業生、在校生に対する祝意と激励を行ってまいりました。

次に、昨年7月12日(土)に新宿の東京都庁第1本庁舎45階の南側の展望レストラン「Tokyo-Cafe 202」において、3年ぶりとなる平成20年度の同窓会総会並びに懇親会を母校の関口理事長・校長先生、小山副校長先生をはじめとする教職員の先生方並びに父母の会会長、恩師の先生方等ご来賓のご出席を得て、開催いたしました。会場となった都

庁45階の展望レストランは、東京全域が一望できる展望室を兼ねており、当日は天候にも恵まれて東京都心の夏の夜景を十分に堪能することができました。

総会・懇親会では、司会者の開会挨拶でスタートが切れ、始めに会長挨拶の中で、平成19年度から同窓会が実施している在校生に対する奨学事業等の報告と向こう3年間、本会の運営を担う新役員並びに会計監査人の承認を求めさせていただきました。次いで、ご来賓ご挨拶として関口理事長・校長先生よりお祝いのお言葉をいただき、市川副会長から今後3年間の本会役員の紹介がありました。

その後いよいよ、須藤前校長先生の音頭による乾杯で懇親会が開始され、それぞれのテーブルは旧友、恩師との久々の再会に、和やかな歓談へと移りました。席上では、飛び入りで下田将美(昭和31年卒：昨年10月にご逝去)さんのハーモニカ演奏、親子二代卒業生への記念品贈呈、女性ジャズシンガー「CHAKA」さんのショータイム、宴たけなわでは、ビンゴゲーム等もあり瞬く間に予定された2時間が過ぎてしまいました。3年振りの再会とあって懇談は尽きることなく和やかに進められ、最後は、恒例となった出席者全員による新旧校歌の大合唱で名残りが尽きぬ中、それぞれが次の再会を約してお開きとなりました。開会時点では、45階の展望室から見える外の景色はまだ真夏の陽が沈まず明るかったのですが、懇親会がお開きとなる頃にはその風景は一変して、大東京の夜景が360度のパノラマでそれはそれは大変綺麗で見応えがありました。

なお、下記に、ご来賓を始めとする当日の出席者のご芳名を、掲載させていただきました。

また、総会・懇親会の開催前には、午後3時から懐かしい母校の見学会が開催され、役員を含む13人の方が参加されました。

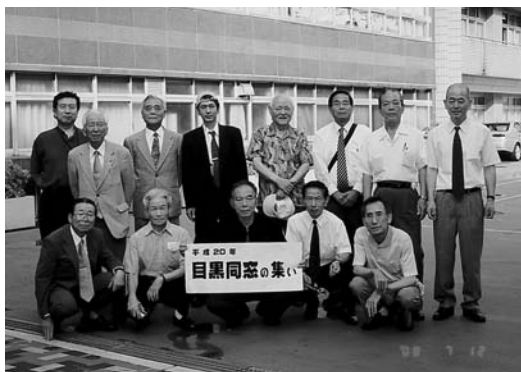
43年ぶり、はたまた63年ぶりに母校を訪れた参加者の皆さんは、母校の発展に感激されつつ、在校生と共に記念写真に収まる場面もありました。参加された皆さんは、それぞれ一様に在学当時の思い出に浸って有意義な時間が過ごせたようでした。

当日、学校内のご案内等で大変お世話になりました小山徹先生（当時副校長）に、誌上を借りて厚く御礼申し上げます。

次に、本会の会員数について申し上げますと、去る3月10日の第61回卒業証書授与式を以て、新たに189名の新会員を迎え、会員総数では29,700名を数えるにいたりしました。このうち、本年の親子2代に亘る卒業生は、2組4名でありました。（7頁記載）

次に、ここ最近の役員会における審議事項について、一点ご報告をさせていただきます。

母校では本年、中高一貫コースの15周年を迎えるに当たって、平成19年から教育環境の充実を推進してきており、昨年の夏休みには中高一貫コース校舎の全面改装工事を実施されました。



2008.7.12総会・懇親会前の母校見学会

そして、その財源の一部として昨年10月から主に中高一貫コースのご父母を対象とした寄付金募集を行ってまいりました。そこで、同窓会と

しても年間予算の中で対応できる範囲内で、母校へご協力することを役員会で決定し、平成21年度の本会予算に母校への寄付を予算計上することとなりました。



次に、今回の同窓会だよりから本誌に掲載される広告が一部入れ替わりとなりました。これまで長年にわたってご協力くださいました、株式会社マッツ様（昭和29年卒、松本 誠治様）と南国飯店様（昭和53年卒、諸 根雄様）が諸般のご事情から降板され、新たに株式会社ディーアイジェクト様（昭和55年卒、土井 義夫様）と優和デザイン様（平成2年卒、北村 徳章様）がご協力してくださることになりました。また、油研工業株式会社様（昭和20年卒、結城 重一様）、ロイヤル監査法人様（昭和20年卒、宮川 良雄様）と東邦工業株式会社様（昭和31年卒、土方 国任様）は引き続きご協力をいただいております。

本会財政への一助として、長きにわたって広告掲載をしてくださった会社、法人様、そして今後も、ご協力をしてくださる会社、法人様に誌上から深く敬意を表し御礼を申し上げます。

おわりに、今後もなお一層、同窓会に対するご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会員諸兄、母校在校生並びに教職員の皆様方の益々のご健康とご発展をお祈り申し上げます。会務報告とご挨拶といたします。



平成20年度総会・懇親会

出席者のご芳名

平成20年7月12日（土）、東京都庁第1本庁舎45階の展望レストラン「Tokyo-Cafe 202」にて開催された同窓会総会・懇親会にご出席された方は、下記の方々です。

〈ご来賓〉		S.53年卒	井 口 見 司
理事長・校長	関 口 隆 司	H.19年卒	井 口 勇 司
副 校 長	小 山 徹 司	〈会 員〉	
事務局長	松 本 武 巳	S.20年卒	☆岡 本 誠之助
教 諭	工 藤 亘 啓		☆金 井 信 夫
恩 師	須 藤 亘 啓		☆久 我 茂三郎
父 母 の 会			☆羽 生 幸 司
会 長	井 上 肇	S.23年卒	渡 辺 昭 男
〈招待者〉		S.27年卒	須 藤 昭 男
親子2代卒業生		S.28年卒	藤 田 貞 男
S.52年卒	根 岸 克 臣		大 谷 一 男
H.19年卒	根 岸 征 央	S.30年卒	小 川 敏 彦
S.52年卒※	（稲 葉 好 彦）		木 村 義 男
H.20年卒※	（稲 葉 明 夫）		原 野 登
	※夫人が代理出席		

S.31年卒	矢 下 石 内 河 伊 石 片 武 飯 中 平 池 太 高 武 長 行 柿 早 星	福太郎 美 巳 治 潔 徹 夫 勇 広 明 正 洋 篤 正 忠 義 源 三 国 俊 信	S.42年卒	市 志 安 武 加 小 村 高 鶴 小 大 竹 北 石 乾 村	川 賀 達 田 島 林 石 木 見 林 川 澤 村 田 尾	康 政 富	圭 英 正 秀 信 洋 徳 泰 明 和	憲 美 夫 敬 広 隆 樹 二 幸 二 也 行 章 之 成 紀
S.32年卒			S.43年卒					
S.33年卒			S.44年卒					
			S.50年卒					
S.35年卒			S.53年卒					
S.37年卒			S.57年卒					
S.38年卒	☆平 池 太 高 武 長 行 柿 早 星		H. 2年卒					
S.40年卒			H.11年卒					
			H.18年卒					
S.41年卒								

（☆印 同伴出席者）（敬称略）

ご挨拶と学校の動向



理事長・校長

関 口 隆 司

平成20年度もおかげさまで関係者の皆様のご支援・ご協力を賜り、職務を遂行することができました。中高一貫コースと高入生コースの生徒・教職員の交流も徐々にではありますが成果をあげ始めております。様々な学校行事（完全6日制）と教職員のシフト（週休2日制）も軌道に乗り、今後も少人数制で生徒の個性を良い方向に導くため教育内容の充実に進進する所存です。どうぞ引き続き同窓生の皆様の忌憚のないご意見を賜りたく存じます。

以下簡単ですが学園概況のご報告を申し上げます。

1. 学校行事等

平成20年度の目黒学院では、予定通り順調に学校行事・教育活動が行われました。昨年度に大流行しました麻疹（はしか）につきましては、今年度も生徒に影響が及ぶことはありませんでしたが、昨今は新型インフルエンザの流行が危惧されるところです。引き続き生徒に注意を促すとともに、校内の美化・身なりの清潔を保つことの重要性の周知徹底に努めて参りたいと考えます。

行事とは直接の関係はございませんが、本校の中学生が、中目黒駅でタクシー降車の際に転倒して怪我をしたご老人を介抱し、後日来校されたご本人の奥様からお礼のお言葉を頂戴いたしました。登下校時には大勢の生徒が中目黒駅を利用しますので、とかく周囲の方々のご迷惑となりがちですが、とてもうれしい出来事でしたのでご紹介させていただきます。

2. 教職員の異動

副校長（高入生担当）の小山徹先生が退任され、教頭の杉田一己先生が本年4月から副校長に就任されました。また、田嶋良一先生が教頭に就任されました。一貫生担当では、高山松三先生が副校長に、本間金栄先生が教頭に就任されました。

赤間日吉先生（理科）、関口保先生（地歴）、工藤徹先生（数学）、日高文雄先生（国語）が定年退職されました。前記4名の諸先生は、引き続き専任講師として高入生の授業をご担当されております。一方、新しく今関大輔先生（数学）、神田将之先生（英語）を専任教諭としてお迎えしたほか、濱野稔子先生（国語）を常勤講師としてお迎えしました。また、事務職員として白石裕紀先生をお迎えしました。

現在の専任教員数は67名（専任講師・常勤講師を含む）、専任職員数は8名となっております。

3. 部活動の状況

関東大会以上に出場したのは、ゴルフ部・空手道部・囲碁将棋部でした。このうち空手道部は全国選抜大会に出場、囲碁では文部科学大臣杯全国選手権大会に出場しております。また、本校の部活動ではありませんが、フィギュアスケート

でも全国大会に出場いたしました。

4. 大学進学状況

本校のホームページに本年度の大学進学実績を掲載しております。一貫生は昨年・一昨年ほどの実績をあげることができませんでしたが、医学・歯学系も含め、妥協せずに自分の行きたい大学、学びたい学部こだわって浪人する卒業生の頑張りに大いに期待したいと思います。また、高入生は一般入試で進路目標を達成できた生徒が多く、「総合的な学習」として進めて参りましたキャリアデザイン教育の効果もあったものと考えております。生徒の大半が大学進学希望であり、生徒の志望進路実現のために教職員一同なお一層真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」の男子を育成したいと考えております。

5. その他

平成20年度は、経済的に就学が困難な生徒の保護者に対して学費を免除する規定に基づき、1名に対して授業料の全額（399,600円）免除を行いました。規程に基づき授業料を免除した場合には、同窓会からその一部をご援助いただく予定であります。



油圧の総合メーカー

YUKEN

油研工業株式会社

（東京証券 第一部上場）

相談役

結 城 重 一

（83才）

（第1期卒業）

本社
相模事業所

神奈川県綾瀬市上土棚中4-4-34
TEL (0467) 77-2111

営業本部

東京都港区芝大門1-4-8 清和ビル
TEL (03) 3432-2111

平成21年度予算書

平成21年4月 1日から
平成22年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
同 会 会 費	2,216,700	2,072,500	144,200
入 会 金	466,000	480,000	△ 14,000
賛 助 会 費	580,000	650,000	△ 70,000
総 会 会 費	0	375,000	△ 375,000
寄 付 金	0	160,000	△ 160,000
雑 収 入	80,000	103,000	△ 23,000
当期収入合計	3,342,700	3,840,500	△ 497,800
前年度繰越金	1,725,022	2,454,479	△ 729,796
収 入 合 計	5,067,722	6,295,299	△ 1,227,567

(支出の部)			
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
総 会 費	1,311,500	3,040,000	△ 1,728,500
行 事 費	0	1,500,000	△ 1,500,000
通 信 費	1,150,000	1,300,000	△ 150,000
印 刷 費	160,000	230,000	△ 70,000
雑 費	1,500	10,000	△ 8,500
会 議 費	96,000	161,000	△ 65,000
役 員 会 費	90,000	105,000	△ 15,000
委 員 会 費	0	45,000	△ 45,000
通 信 費	5,000	10,000	△ 5,000
雑 費	1,000	1,000	0
補 助 費	380,000	380,000	0
部・同好会補助	350,000	350,000	0
文 化 祭 補 助	30,000	30,000	0
事 務 費	644,000	765,000	△ 121,000
人 件 費	330,000	370,000	△ 40,000
事務消耗品費	250,000	300,000	△ 50,000
交 際 費	60,000	90,000	△ 30,000
交 通 費	2,000	3,000	△ 1,000
雑 費	2,000	2,000	0
名 簿 費	410,000	410,000	0
機 関 紙	210,000	210,000	0
卒 業 生 名 簿	200,000	200,000	0
奨 学 金	400,000	0	400,000
予 備 費	500,000	100,000	400,000
当期支出合計	3,741,500	4,856,000	△ 1,114,500
次年度繰越金	1,326,222	1,439,299	△ 113,066
支 出 合 計	5,067,722	6,295,299	△ 1,227,566

〔特別積立金〕		
(単位：円)		
保 管 種 別	本年度末	前年度末
定 期 預 金	7,000,000	7,000,000

平成20年度の決算報告ならびに平成21年度の予算を掲載いたします。

2. 支出の部

総会費をはじめとしたすべての経常支出科目において節減努力した結果、予算対比で38万円の減少となりました。

なお、昨年度から開始した在校生に対する奨学金支出は、本年度3名分を予備費で執行しました。

〔会計監査報告〕

会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて監査を行った結果、公正かつ相違ないことを認めます。

平成21年4月28日 会計監査 藤田貞男
会計監査 石渡博己

2. 支出の部

本年度の事業計画は、①同窓会だより「桐」の発行、②平成22年3月卒業の卒業生名簿の作成、③在校生の部・同好会に対する補助、④在校生に対する奨学金支出等が主なものです。

1. 収入の部

例年と異なる点では、昨年度母校において中高一貫コースの校舎改修工事を実施したことに伴い、工事費の一部として同窓会からの寄付金（目黒学院中高一貫教育環境充実寄付金）を予備費に計上しました。

この結果、次年度への繰越金は132万円を予定し、単年度収支では39万円の支出超過予算となりました。

◆ 新 入 会 員 紹 介 ◆

本年3月に母校を卒業し、新たに本会会員としてお迎えした新入会員の中から、4名の方をご紹介します。
それぞれの方から、母校で学んだ3年間で振り返っていただき、所感を以下にお寄せいただきました。

3年間に得たもの



潘 ケン
建 雄

(平成21年3月卒)

この度、敬愛なる上田先生よりもらえし重任。それは高校生活の思い出を自由に述べよというものであった。3年間もの間、仲間と共に沢山の思い出や経験を積んできた。

しかしその真の意義について、ほとんど自分の中ではいまだ消化しきれず、恐らくこれから一生かけても理解できないものもある。そこで、自分が気づいた高校生活での顕著な進歩を二つ綴ろうと思う。

偉大なる音楽家モーツァルトは、家族にこんな言葉を残している。「旅をしない人は哀れ」、私がこの言葉を実感できたのは、オーストラリアにいた一ヶ月のおかげであった。それまで退屈だと思っていた物事を、外側から眺めることができた。

つまり、少しだけ客観的になれた。偏差値もたいしてよくない、おまけに男子校かよ、と今まで周りのせいにして愚痴を吐

き散らかしていた青臭い自分をはじめて知った。

これが、私の高校生活における最初で最大の進歩であったかもしれない。もちろん、変化があったのは私だけじゃない。参加した人は、何かしら新たな発見をしたに違いない。

二つ目の進歩は高校最後の年、受験を迎えた時であった。受験という戦いの中で、私は「青臭く」居続ける大切さを思い知らされた。それじゃ一つ目に述べたことと矛盾するのでは、と思うかもしれない。しかし、これは一つの逆説で、新しいものを受け入れるには、青臭い程の未熟で且つ素直なままの自分であることが前提である。『花鏡』に伝わる「初心忘るべからず」という言葉の中身は当たり前のものであって実は凄く深いと、今の私なりに理解している。

私のように、今年卒業して行く人は皆さまざまなものを得て、さまざまな思いを抱いて旅立っていくでしょう。そして高校で得たものを糧にし、時々振り返りながら成長していくことでしょう。私たちにとって、高校生活こそが人生における初心である。

最後に、私たちに大きな進歩の契機を与えてくれた学校及び先生方々に深い感謝を捧げます。そして共に3年間を分かち合った仲間が限られた時間の中で、己の信念を曲げずに、いつまでも「青臭い」ままに居続けてほしいと、願います。

高校生活という宝箱



タカ ノ フミ ヤ
鷹 野 史 弥

(平成21年 3月卒)

「あなたの宝物(=大切な物)はなんですか？」と問われると、すぐに「友達」、「家族」、「先生」、「命」、「思い出の品」、「経験」……などの言葉が頭の中に浮んできます。僕は、こういった宝物は直接的であれ間接的であったとしても、必ずその持ち主に大きな影響を与えたいと思います。逆に、そういうものこそ、宝物だと言えるものなのではないでしょうか？

そうすると、「僕の高校生活」という3年間は僕にとって何だったのか？ ただ、他人と同じように身長を伸ばすための期間？ ありえない！ 内面的にも外面的にも成長するこの時期の3年間、それは、時には先生の教えや語学研修といった影響、時には部活などを通しての影響、さまざまな宝物が入っている宝箱なんです。その宝箱があったからこそ、今、自分という人間がいて、独自の考えがあり、自分だけの個性があります。本当にこの宝箱にはいっぱいのが詰まっています。友達との笑い声が響く日々、先生に教わる日々、物事に一生懸命取り組んだ日々、自分の進む道を確立する日々、特定の先生に怯えたり、逃げた日々。正直、最初この高校に入学したとき、

僕の中は新しい生活にわくわくする気持ちと、後悔する気持ちが入り混じってしていました。

しかし、今、この宝箱の中には、反省の日々はあるけども、後悔の日々はないと胸を張って言えます！

そして、それらの宝物をくれた先生、友達、またそういった環境を提供してくれた目黒学院へ、3年間本当にありがとうございました。

今、僕は3年前と同じように次の新しい生活を始めます。残念ながら第一志望の大学に落ち、違う大学に入学することになりました。しかし、以前とは違い、今の僕の気持ちの中に新しい生活に対する不安という雲はありますが、後悔という雨は降っていません。

 東邦工業株式会社 Toho Industries & Co., Ltd.	
代表取締役 土方 国任 (31年3月卒) Hijikata kunitaka	
●業務内容：熱硬化性プラスチック用インサートナット 熱可塑性プラスチック用インサートナット 携帯電話対応インサートナット、ステンレス精密シャフト ●使用機械：スイス型自動旋盤、NC複合加工自動旋盤、NC自動旋盤 ISO 9001.14001 認証取得	
本 社 工 場 東京都目黒区下目黒2-12-3 TEL 03-3490-1311(代) FAX 03-3490-3848 大岡山工場 東京都目黒区大岡山1-6-10 TEL 03-3717-3153 FAX 03-3717-6790	品 川 工 場 東京都品川区南大井1-20-7 TEL 03-5764-3611 FAX 03-5764-6760 E-mail: touhou-kg@md.newweb.ne.jp http://www.toho-indust.co.jp

卒業式の前に


 イイ ジマ タ ロー
 飯 島 太 郎

(平成21年3月卒)

私の目黒学院に対する印象は、とても自由がありつつも、しっかりと生徒が育つ環境が整っている学校だと思います。その環境があったからこそ、私は大きく成長し、この目黒学院を卒業できたのだと思っています。

私は大学に進学するのですが、個々で学んだことを自信にして、胸を張って勉学に臨みたいと思います。

最後に後輩達へ！！

今、この学校がつまらない、楽しくないと思っている人がいても、決してやめなくて目黒学院を卒業して下さい。

きっと、目黒学院に入学して良かったと思えることが、たくさん出来るはずですよ。この目黒学院で頑張って、大きく成長して下さい。

今まで本当に、ありがとうございました。

目黒3年間ありがとう


 スズ キ ユウ タ
 鈴 木 佑 太

(平成21年 3月卒)

自分の目黒での3年間は、本当に朝から晩まで野球をしていました。朝は早い時に4時に家を出て、夜は家に着くのが11時を回っていた日もありました。しかし、こんな過酷な日々でしたが、こんなにも野球に打ち込めたのは自分自身とても満足しています。野球以外でも、先生方のわかりやすい授業のお陰で、特待生という形で賞をいただくことが出来ました。

この目黒学院に入り、充実した3年間を送れたのは、陰ながら支えて下さった諸先生方、その他多くの方々の存在があったからです。

3年間本当にありがとうございました。



会員紹介

波瀾万丈…我が人生


 カキ サコ クニ オ
 柿ノ迫 国 夫

(昭和41年3月卒)

昨年7月、43年ぶりに母校を見学させていただきました。

今では夜間部（定時制）はなく、中学校になっていました。

私は、夜間部の機械科卒業ですので、これも時代の流れでしょうか。

私と目黒高校との接点は、当時、中目黒に勤めていた会社があり、仕事は毎日5時まででしたので、新聞で夜間部機械科の募集を知り、入学願書を提出しました。その折り、当時、窓口におられた事務長の小松先生が、特待生として2年を受験しなさいとアドバイスしてくださり、2年から学ぶこととなりました。

クラスはA組で担任は数学の井手先生、3年は2学期からでしたが実習の佐藤先生、4年は1年休学したのですが数学の伊藤先生でした。ちなみに、隣のB組は体育の梅木先生でした。

私は、3年の春休み中に、労災事故で両足に100度の熱湯を浴びて30%におよぶ火傷を負い、1学期は休学し2学期から復学しましたが、ケロイドがひどくその後さらに1年間の治療を余儀なくされました。腹部やお尻からの皮膚を13カ所も移植して、見栄えは悪いですがなんとか良くなりました。

入院中、旋盤で身を立てようと転職を決意し、退院後、五反田の職業安定所で学校へ通える会社を紹介してもらい、ア

パートも借りて、目黒高校の夜間部機械科をようやく昭和41年に卒業しました。

そして、人生の転機となるチャンスは、卒業と同時にやって来ました。旋盤を請け負う会社に入社して、給料が一挙にこれまでの4倍になったのです。当時は、もう目の色を変えて一心不乱に働きました。

その後、27歳で独立してNC旋盤、マシンニングなどを導入し、事業は順調にうまくいきました。

しかし、20歳の時の治療のための輸血が原因となって、38歳で肝炎を発病し、50歳の時にC型肝炎と診断されました。そして、58歳で肝臓癌、その後再発を2度繰り返し、肝臓が3分の1ほどに縮んでしまい、これでいよいよ寿命かと覚悟していました。家族が東大病院で生体肝移植を計画しましたが、残念ながら不適合の結果となり落胆していた折り、突然、海外での移植の道が開けたのです。岐阜県の病院で、余命6ヶ月と宣告され、自宅で仕事をしながら海外での移植の機会を待っていましたら、私と同じ病状で海外の地でドナーが現れるのを待っていた患者さんが、現地で亡くなってしまい、突然、私に肝臓移植の順番が回ってきたのです。娘とともに平成18年11月23日、南米コロンビアに出発。幸運にも入院2日目に脳死ドナーからの移植を受け、1週間集中治療室で幻覚にさいなまれて生死をさまよった後、正気に戻った時の娘の喜んだ顔が今でも忘れません。その後、約1ヶ月を経て12月21日に帰国、翌年のお正月は自宅で迎えることが出来ました。

目黒高校時代の友人から、身代わり不動尊で書いてもらったお札を枕元に置いていたので、神様が命を助けてくれたのかも知れません。

現在、手術後2年6ヶ月を経過し、社長業は妻に譲り、私は一介の職人として朝、夜と免疫薬を服用しつつも元気で働いています。

◆恒例「親子二代卒業生」ご紹介◆

佐藤	一義（父）	昭和53年3月卒
	亮介（子息）	平成21年3月卒
山本	益弘（父）	昭和53年3月卒
	浩也（子息）	平成21年3月卒

◆急募！ 同窓会活動に
ご協力いただける人材◆

対 象 年齢不問、同窓会の活動に関心のある方。
パソコン、インターネットに興味のある方大歓迎。

連絡先 安達 富夫 TEL 090-4063-6580

●クラス会・同期会の開催状況をお寄せください！

本紙では、紙面の一層の充実を図り、会員にクラス会、同期会の開催状況を広くお知らせするために、投稿をおまわしています。

〔要領〕開催の模様（開催日時、場所、参加者数等）を、字数1,000字以内にまとめ、写真を添えて投稿者の氏名、住所、電話番号、卒業年を明記して下記にお送りください。

〔宛先〕〒153-8631 目黒区中目黒1-1-50
目黒学院高等学校同窓会事務局 まで

<監査業務>

ロイヤル監査法人

統括代表社員 公認会計士

宮川 良雄

東京都千代田区内神田1丁目18番11号
東京ロイヤルプラザビル

TEL 03-3233-1152
FAX 03-3293-4770

財務、税務、登記 企業診断、相続税
税理士、司法書士、中小企業診断士

宮川良雄事務所 所長 宮川良雄
(第1期卒業)

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目7番17号
TEL 03-3716-7666
FAX 03-3712-1365

◆同窓会役員氏名◆

平成20年度の総会・懇親会にて、選任された本会の役員の方々は、次のとおりです。

なお、任期は平成23年の総会開催までです。

役 職	氏 名	卒 業 年
会 長	安達 富夫	昭和43年
副 会 長	須藤 昭男	昭和27年
"	矢川 福太郎	昭和30年
"	土方 国任	昭和31年
"	平井 洋	昭和38年
"	市川 康憲	昭和42年
総 務	鶴見 正幸	昭和50年
"	高木 英二	昭和50年
"	小林 秀二	昭和53年
"	北村 徳章	平成2年
広 報	小井 隆司	昭和44年
"	井口 見司	昭和53年
相 談 役	久我 茂三郎	昭和20年
"	武田 広	昭和33年
会 計	木村 義男	昭和30年
"	大川 信也	昭和57年
会計監査	藤田 貞男	昭和28年
"	石渡 博巳	昭和32年



同窓会役員一同



優しさと和をもち
大切な建物を守る

優和デザイン

北村 徳章（平成2年卒）

∞∞ 目黒学院卒業生の皆様 ∞∞
建物の改修工事など
お気軽にご相談下さい。

〒115-0045

東京都北区赤羽1-66-10 シティ赤羽602

TEL 03-6802-6536

e-mail: yw-design@ksh.biglobe.ne.jp

同窓会賛助会費 納入者のご芳名

平成20年度分の賛助会費として、本年3月末までに納入のあった方は、
下記の201名の方々です。ここに、謹んでご報告申し上げます。

★印は新規納入者

ア	青 朝 浅 浅 浅 麻 安 ★阿 阿 新 有 ★安	山 倉 野 野 野 生 達 南 部 井 我 西	正 祥 晃 幸 貢 富 容 敦	和 吾 裕 進 生 司 夫 健 大 博 洋 翔	オ★及 大 大 大 大 大 大 岡 小 小 奥 奥 ★小	川 原 澤 谷 測 本 本 川 住 住 澤	勝 行 一 文 康 誠 直 雄 明 安 幸	則 雄 勝 男 夫 介 助 巨 弘 弘 二	コ	桑 小 小 香 古 小 小 小 小 小 小 小 近	原 泉 井 村 賀 田 嶋 林 室 野 山 山 藤	俊 智 雄 正 吾 靖 啓 義 信 裕 眞	明 之 晃 史 勝 郎 夫 二 臣 一 徹 行 司	鈴 須 ★須 ソ★曾 外 外	木 藤 藤 我 山 山	佑 昭 祐 泰 知 利 克 桂 英 弘 哲 昌	郎 男 史 三 幸 昇 之 年 吾 晟 雄 樹 男 弘 勇 実 敬 男 行 治 敏 雄 磨 一 擴 夫 彦 郎 則 等 男 功 和 広	ノ★野 ハ 橋 長 羽 早	田 本 川 生 田	親 友 洋 幸 俊	弘 和 一 司 治	★三 三 宮 宮 宮 宮	井 橋 内 川 城 寺	崇 良 正	司 徹 登 雄 勇 幸	△★村 村	石 山	圭 栄	樹 助	モ★森 森	大 高	地 晟	ヤ	矢 安 ★安 ★安 矢 山 山 山 山	川 島 井 井 野 岡 口 口 崎	福 陸 英 芳 源 太 克 邦 敏 俊	太 郎 雄 夫 夫 郎 記 裕 治 夫 男	ユ	結 城	重 一	ヨ	吉 井	智 宏	ワ	分 鷺 渡 渡 渡	野 澤 邊 辺 辺	和 正 貴 吉	昭 樹 昭 大 郎
イ★井 ★井 石 石 石 石 市 市 伊 乾 乾 ★伊 ★井 猪 猪 伊 ★岩	口 澤 井 井 綿 渡 川 川 藤	見 秀 祐 健 博 康 周 明 貞 陸 友 尚 拓	司 健 夫 一 二 巳 清 憲 一 成 郎 彦 誠 充 登 真	司 健 夫 一 二 巳 清 憲 一 成 郎 彦 誠 充 登 真	カ	海 柿 ★片 香 金 神 河 川 ★河 川 川	藤 迫 岡 取 子 谷 合 嶋 瀬 瀬 畑	幸 国 祐 芳 雄 章 雅 彰 年 憲	雄 夫 介 則 郎 守 雄 彦 宏 茂 聖	サ★齋 五 月 久 佐 佐 佐 佐 眞 狭	藤 女 間 藤 藤 藤 田 山	康 進 重 明 静 二 英 一 正	一 男 朗 男 郎 幸 普 則	仁 一 実 美 志 和	★種 丹	出 水	進 義 東 論 正	夫 彦 郎 則 等	マ	星 洞 堀 本 本	野 口 江 多 間	嶋 巴 下 本 鍋	喜 玲 旺	義 熙 樹 氣 毅	ク	菊 木 木 木 北 木 喜 清	地 全 全 根 村 名 原	明 繁 伸 益 義 朝 相	廣 郎 隆 巳 男 典 皓	シ★穴 穴 篠 下 蕭 ★新	戸 崎 田 地	優 隆 将 欣 邦	法 昭 完	茂 大 敏	ス	杉 鈴 鈴 鈴 鈴 鈴	本 木 木 木 木 木	男 次 司 邦 之 介 一	ナ	中 長 中 ★仲	澤 崎 村 野	康 重 忠	ミ	水 水	谷 野	清 一	計201名 (内新規納入者40名)	

賛助会費の納入をよろしく
お願いいたします！
賛助会費：一口1,000円

賛助会費は、一口1,000円で、口数は任意となっております。
お志のある方は、複数口のご協力をよろしくお願い申し上げます。
また、財政面で安定した本会運営を行っていくために、
多数の会員諸兄のご協力をお願い申し上げます。
※納入にあたっては、同封の郵便局用「払込通知票」をご使用のうえ、お振込みください。

各種非破壊検査 鉄骨鉄筋検査 構造物調査
株式会社 ディーアイジェクト

・東京都知事登録検査機関
・CIW-B種認定検査事業者

専務取締役 土井義夫 (昭和55年卒)

本社/神奈川県川崎市川崎区旭町2-18-6
TEL 044-200-7286 FAX 044-246-5080

(名古屋 栃木 中国 バンコク インドネシア)